メシェレ いなべ

ふれあいのまちづくりをめざして　2021.3.4　Vol.52

メシェレいなべは いなべ市民と共に 人権を考える会です。

誰もが自分らしく生きるまちづくりを!!

多様な性を自然に受け入れられる環境づくりを進めよう

昨年６月、「いなべ市性の多様性を認め合う社会を実現するための条例」が制定されました。私たちメシェレいなべでも、LGBTなど多様な性のあり方について、「LGBTの家族と友人をつなぐ会」理事の浦狩知子さんを講師にお招きし、委員の研修会を持ちました。講師の浦狩さんから、母親の立場での悩みや苦しみ、葛藤など、ご自身の体験を赤裸々に語っていただきました。我が子をありのままに受けとめ、社会に向けて行動されている浦狩さんの生き方に、委員一人一人が自分自身を見つめ直し、感動を持って学ぶことができました。LGBTについて、現代の重要な人権課題の一つであることも改めて認識できました。そのためにも、多様な性を自然に受け入れられる環境づくりや教育が必要です。様々な機会を通して私たちの学びを深め、一人でも多くの市民の皆さんへお伝えしたいです。

LGBTの人が10人に1人!

自分のまわりにはLGBTの人はいないと思っていましたが、気が付いてないだけ、知らないだけ、知らされてないだけなんだと思い直しました。まだまだオープンに出来ない、正直に言えない……という社会の壁が大きく立ちはだかっているということです。そういう世間の偏見を取り除くことは簡単ではないですが、一人でも多くの方にLGBTについて学んでいただき、偏見がどんどん無くなる社会になって欲しいと思いました。

カミングアウトを受け止める

もし自分の子どもがトランスジェンダーだったらどうするだろうと考えました。私たちが考えていかなければならない事は、カミングアウト（LGBTであることを告白する）されたらそれを受け止められるような社会にしていかなくてはいけない。「女の子らしく」とか「男の子なんだから」とか言わない。身近にもそういう発言に苦しんでいる人がいるかもしれない。とみんなが意識してそう言う発言がない社会にしていけたら、と思います。

同じ母親として、身につまされる思いで聞きました。ずっと抱えてきた違和感を抱えきれなくなってご両親に話をされた娘さん。どんな状況になろうとも、我が子を理解しようとされた事で新しい生き方を見つけられたんですね。思春期真っ只中で、親にその苦しさを話せる関係を築かれていたことも素晴らしいです。「うそをつかずに、自由にのびのびと生きられるように」と願う事が、まさに人権の尊重された社会を築くことなんですね。

自由にのびのびと生きられるように

浦狩さんは同じ母親として、子どもの切実な思い、増してそれは性的マイノリティーに関すること。それに対し葛藤しながらも世間体など気にせず、全身全霊で応えて前に進んでいく姿に感動した。そして今日の研修会で浦狩さんの肉声での訴え、切実な思いに触れ、改めて「ごめんね」と言わせない、そして当事者がありのままに自分の思いが表現できる社会をつくっていかなければならないと思った。

ありのままに思いが表現できるように

LGBTとは

性的マイノリティ(少数者)である「女性同性愛者：レズビアン(L)」「男性同性愛者：ゲイ(G)」「両性愛者：バイセクシュアル(B)」「体の性と心の性に不一致を感じる人：トランスジェンダー(T)」の頭文字をとった総称です。

SOGI（ソジ：性的指向・性自認）とは

「どんな性別を好きになるのか」（性的指向）、「自分自身をどういう性だと認識しているのか」（性自認）という意味です。LGBTは特定の「人」を指す言葉ですが、すべての人がもつ性のあり方の多様性に焦点をあてて表現した言葉です。この言葉を使うことで性的なあり方の問題をすべての人が自分の問題として捉えることができます。

施設訪問　子育て支援センター「すこやかランド」へ

メシェレ北勢地区は、保育園に上がるまでのお子さんを育てているお母さんやお父さんを応援する活動を続けています。この活動を常にサポートして下さるのが、子育て支援センター「すこやかランド」の職員の皆さんです。コロナ禍で活動が減ったこの機会を利用して、施設訪問の研修を企画しました。

12月10日、クリスマス一色に飾られた素敵な部屋で（ここで、遊びにいらした親子がゆったりとした時間を愉しむのですね！）、お話を聞きました。右記の目標を目指して（メシェレの活動と同じ！）様々な活動に取り組んでみえます。

＊ブックスタート、ブック・Reスタート（毎月）

6ヶ月と2歳の子どもさんに誕生月に支援センターに招待し絵本のプレゼント

＊出前ひろば・あそびの会

治田、阿下喜、十社、山郷の地域に出向いて遊びと交流の場を親子へ提供

＊岡田さんのいち・にのエクササイズ（月１回）

おかあさんのリフレッシュの時間
その他、わらべうたで遊ぼう、きら☆きらじーばーず、すこやかマミーズ、物作りなど

いなべ市に住んでよかったと思え、子どもを安心して生み育てられる、人と人との支え合い・助け合いの精神が大切にされる、心豊かなまちづくりを目指して様々な子育て支援サービスを図っています。
（市子育て支援センターパンフレットより）

地域の方の協力も得ながら様々な取り組みを進め、お母さんたちの繋がりだけでなく地域の方との繋がりも育ててみえます。更に子育て支援の活動やセンターの開放日を伝えるお便りを、毎月、北勢町内の保育園に上がるまでの子どもさんの家庭（約160人）に配布し、その時に顔を合わせてお話をすることを大切にしています。このことでセンターに来られないお母さんたちとも繋がりをつくってみえます。驚き、感心しました。子育て支援センターの方の活動を学ぶ事が出来、職員の方と私たちと交流できたことは大きな成果でした。

LGBTについて、私たちに気軽に相談してください！！

保護者のサポーターとして、トランスジェンダー（FTM）の子を授かった母　浦狩知子（うらかりともこ）です。
【NPO法人　LGBTの家族と友人をつなぐ会】

いなべ市に住んでいてよかった！を目標にLGBT啓発活動をしている「いなべ市地域おこし協力隊」佐野恒祐（さのこうすけ）です。【一般社団法人　ELLY】

◆いなべ市内の取り組み

2019年→行政（いなべ市人権福祉課）との連携
・いなべ市パートナーシップ制度条例導入
・メシェレいなべ「市民人権フェスティバル」参加

2020年→教育（教育委員会）との連携
・いなべ市内の子どもたち、先生方への講演会
・いなべ市内での相談窓口

2021年→企業との連携
・当事者のみならず、保護者のサポート（保護者向け交流会定期開催予定）
・三重とこわか国体を好機にスポーツに力を借りる人権発信拠点「プライドハウス三重」をつくり、市民のみなさまへ知ってもらう

♥2021年度の目標達成に向けて

更なるALLY（LGBT応援者）を増やしていくためにも活動に興味のある方、応援してくださる方も随時、募集しています！　引き続き、宜しくお願い致します。

ＬＧＢＴ相談

性に関する悩みは、どなたでも感じています。
些細なことやフッと感じたことで大きな悩みへ変わっていきます。そうなる前に、力になることができればと思っています。みなさんで、多様な性について考えていきましょう！

日　時：毎月第１月曜　11時から15時
場　所：いなべ市役所　人権福祉課（86-7815）